

謹賀新年

2023



栗原 実
板倉町長

明けましておめでとうございます。令和5年の新年を、ご家族皆さまで元気に明るくお迎えのこととお慶び申し上げます。

3年続きのコロナ禍も、昨秋には小康状態となり、これまでに行政が行ってきた研修やイベントなど、幅広く影響を受けてまいりましたが、ようやく少しずつ配慮を加えた形で、コロナとともに、また、コロナ前のような状態に向かって回り始めていると思っております。

とはいえ、ワクチン接種も高齢者では5回目となり、「有効」とはいえど「よく分からない熱の出る異物（ワクチン）」をこの先何回打てばよいのかと心配になる状況でもあります。

「打ちたくても打てない国からすればありがたい」との声も聞きますが、日本の医学レベルからすれば、そろそろ原因が究明され、安定した、効果の長いワクチンの開発がなされてもよいのと思うのは私だけでしょうか。この点で国には本当にがんばっていただきたい。

片やコロナ禍での経済停滞、円安での輸入物価の高騰、ロシア

広報いたくから1月号では、町の各方面で活躍されている12人の皆さまから、新年にあたってのごあいさつをいただきました。

本年が板倉町に関係する全てのかたにとって、素晴らしい年になりますようご祈念申し上げます。

アのウクライナ侵攻によるエネルギー危機や肥料や穀物などの輸出調整による資材高も加わり、新年の政治経済は楽観を許さない厳しい見通しの中にあるようです。

賃金が30年来上がらない、ここきて諸物価だけが上昇するという「悪いインフレ」が進む中で、すでに春闘の目標が5%を上回る要求が決定されるなど、国民の生活を防衛する立場から物価高騰に対抗する案が出され始めています。諸物価の値上げは必要と思われまので、この点も国のがんばりに期待したいと思います。

我が板倉町も、企業誘致こそ順調に進んでいます。全国の全ての自治体に押し寄せる少子高齢化、人口減少、産業空洞化、後継者難、過疎化、大都市集中などの波は止まりません。当町としてもここ10年、限度はありますが、前述した右肩下がりの減少に対応すべく、総合的に各分野の施策の展開をしています。が、その成果を実感できるものは少ない現状に加え、コロナ禍

でむしろ不活性化の方向に進展するのではとの心配がなされるほどであります。

基本的事実として高度成長期の右肩上がりの50年の歴史から、未経験なマイナス成長、右肩下がりの逆転の時代に突入している現状の中では、大都市は別として、そのことを前提にした、身の丈に合った、集約的、選択的、効率的な経営を行うための体制、組織、経営感覚づくりを持つて、研ぎ澄ませた政策を展開することが必須であります。

ダーウィンが言う「進化という変わりゆく環境に順応し、変化対応できるものだけが残れる」のであるとするならば、経験を積んできたこれまでとは真逆の時代が全ての市町村、日本人に襲いかかっているわけであり、頭も行動もお金の使い方も、全てに逆行するほどの転換をすることこそがダーウィンの法則なのかもしれません。一人ひとり考えてみる年としていただいてもよろしいのかなと思われま

す。私自身、今年も力の限り努力してまいります。





今村好市
板倉町議会議長

町議会議員選挙による住民自治の推進と確立を

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては令和5年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。今年度は新型コロナウイルス感染症が世界中で拡大してから4年目を迎えます。この3年間、国、自治体、医療機関、個人がかつてない対策を実施してきたにも関わらず、ウイルスが次々と変異し、第8波まで来てしまいました。

国、県、市町村はコロナ対策に莫大な予算を投入してきたにも関わらず、沈静化しない状況であり、今後の有効な対策に期待するところですが、一日も早く平穏で安全な日常が戻ってくるよう、議会としても各機関と連携して対策を進めてまいります。

今年度は4年に一度の地方統一選挙の年です。町民の意思を町政に反映する大事な機関である町議会の議員選挙が4月に行われます。

今回の選挙から公職選挙法の改正により、立候補にあたり15万円の供託金制度が導入されましたが、選挙運動のための自動車使用やビラやポスター作成の費用が公費負担となり、幅広い人材が選挙に出やすくなりました。

町議会議員選挙は一番身近な選挙です。多くの人、そして幅広い人材にぜひ立候補していただき、板倉町のまちづくりに参加していただくこと、また選挙を通して多くのかたが町政に関心を持っていただくことが、住民自治の推進と確立につながるものと思います。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。



今井三枝子
行政区長会長

町とのパイプ役として

明けましておめでとうございます。この度、代表区長に任命されました今井です。よろしく願いいたします。

私は、地域の皆さまのご意見などを、町へとつなぐパイプ役として、がんばってまいりたいと思います。皆さまのなかには、町への要望や、自分たちに何ができるのかなど、いろいろな考えを普段からお持ちのかたも多いのではないかと思います。

昨今の私の思いは、変わりゆく気象環境による防災への対応や危機管理です。町民一人ひとりがやらなくてはならないこと、町をはじめとする行政にお願いしなければならぬことなどをもう一度整理、理解する必要があると感じています。また、児童生徒の通学路の街灯、防犯カメラなどの設置や、歩道整備が必要なのではと感じています。

まずは、身近な問題やご意見などを、お住まいの区域の行政区長などに申し出てください。月例の区長会で議論し、検討してまいります。もちろん全てを実現できるものではありませんが、実行できるもの、再考が必要なものなど、皆さまの声を行政に届けていただければと思います。微力ですが、がんばりますのでよろしく願いいたします。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。

学びの環境の整備・充実に

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、令和5年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。さて、今年重点を置いて取り組みたいことは、学びの環境を整備・充実させることです。

その一つ目は、確かな学力の基盤となる学習習慣・生活習慣を定着させるため、家庭学習の充実に取り組みたいです。家庭学習啓発資料の作成やタブレットを活用した学習支援ソフトの導入・活用を図っていきます。二つ目は、安心して学べる環境整備のため、いじめ防止活動等に積極的に取り組みたいです。いじめ等の問題は、問題行動が起きてから対応するのではなく、その防止のための活動が重要だと思えます。道徳教育の充実をはじめ、さまざまなアプローチからこの問題に対処していきます。三つ目は、公民館、海洋センターを中心とした生涯学習活動の整備・充実です。町の文化遺産の再確認やコロナ禍でできなかった活動の再開には、新たな視点を加えて工夫改善していきたいです。

町民の皆さまには、本年が健やかで実りの多い年となりますようご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。



赤坂文弘
板倉町教育長

農地利用の最適化の推進に向けて

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、お健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年、一昨年とコロナ禍により、農畜産物の消費減退と価格低迷など、農業界にとっても大変な年でありました。今年こそは平穏な年であってほしいと願っております。

板倉町においては、町の大部分が平地で、水稲・施設野菜などを中心に発展してきました。近年、稲作を中心とする土地利用型農業は、農業の魅力低下などから、後継者の不足など、農業を担うものの確保の面で深刻な状況にあります。施設園芸では、資材の高騰、産地間競争、農作物の価格低迷といった課題があります。

遊休農地の発生も懸念されており、その発生の防止や解消、適切な土地利用に努めていく一方、農地中間管理事業などを活用し、地域の担い手へ農地の集積・集約化に取り組んでいく必要があると思います。

このように本町の農業を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。地域での強みを生かしながら活力ある農業・農村を築くため、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し、担当区域ごとの活動を通じて「農地等の利用の最適化」が一体的に進んでいくよう取り組んでいます。具体的な目標と推進方法については、町ホームページに掲載されておりますので、ご覧いただけると幸いです。

農業と地域を守るために、お互いに健康に留意し、がんばってまいりたいと思います。今年こそ、皆さまにとりましてよりよき年であることを祈念しまして、新年のあいさつとさせていただきます。



小菅正美
板倉町農業委員会会長

豊かな自然を愛でながら

新年明けましておめでとうございます。
ここ数年、早寝早起きになり、紅白や除夜の鐘は縁遠く、初日を待つ生活をしています。

さて、清少納言は枕草子で、四季の美しい時間を春は曙、夏は夜、秋は夕暮れ、冬はつとめてと、早朝や夕方を推しています。現在でも変わりません。板倉の夕焼けは非常に美しいものです。特に秋、西の空が赤に染まり、浅間山から秩父連山、そして富士山へと続くシルエットは、まさに息をのむ、関東平野のみ味わえる絶景です。またマジックアワーと呼ばれる日没後の数分間、雲が染まる様子も見逃せません。また、これからの季節、朝日を愛でるのがよいです。渡良瀬遊水地の空が青から紫に変わり、筑波山の近くが明るくなります。そして真っ赤な太陽が頭を出すと、思わず手を合わせてしまいます。あつという間に姿全体が現れ、私の体も温かくなります。まさに太陽の恵みです。季節を彩る花々も見事です。土手一面の菜の花、桜並木、ロウバイ、シダレザクラ、あじさいも各所で咲き誇ります。そしてその彩りを支えているのは、一面の田んぼと野草たちです。さらにここ数年、冬には白鳥が飛来し、春には遊水地でコウノトリが子育てをしています。

こんな自然豊かな板倉で、人間が長生きをしないはずがありません。それは人間も自然と共生しているからです。社会福祉協議会は、長寿社会を応援します。町とともに、そして行政区長会、民生委員・児童委員、商工会、老人クラブ連合会などの皆さんの力を借りながら、コロナ禍で孤立する高齢者を出さないよう努めていきます。本年がよりよい年になることをお祈りいたします。



峯崎俊雄
板倉町社会福祉協議会長



小池敏郎
板倉町商工会長

町と商工会が連携して地域活性化に取り組む

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が日本、そして世界に拡散されてからはや3年の歳月が経ち、町民皆さまが不安と収束の願いを抱いての正月をお過ごしのことと推察申し上げます。

この3年で従来の生活行動様式や風習、世評なども変わり、私たち住民、事業者は何を学び、何をすべきか、課題への取り組み、実行に至るまで手探りと未知への挑戦に立ち向かっていく必要があるかと思えます。

商工会では、本会事業の大きな二本柱として、従来から根強く認知されていた「地域振興事業」「経営改善普及事業」を核としつつ、令和5年度では更に、地域ぐるみで小規模事業者を支援する体制を整え、専門的かつ高度な支援を行う事業計画の策定、新たな需要開拓、新事業展開など経営発達に資する支援への取り組み、また、自然災害等に対し、事前の備え、事後のいち早い復旧対策を図るべく事業継続力強化を支援する取り組みについて、本商工会と板倉町が共同して計画を策定し、具現化していく方針です。

地域住民および事業者の皆さまと共に分かち合い、共にこの難局を乗り越え、年頭の志を一つひとつ着手、実行できるよう進めてまいります。

皆さまには、本年が心穏やかな幸多き年でありますよう祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。



小谷野泰一
民生委員・児童委員協議会長

住民の皆さんの身近な相談相手として

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆さまには、令和5年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から民生委員・児童委員の活動に対して、多大なご理解とご協力をいただきまして、深く感謝申し上げます。

昨年12月1日に、3年に一度実施される全国一斉の民生委員・児童委員の改選が行われました。当町では、総数36人（うち2人は主任児童委員）のうち24人が改選されました。

改選前の3年間は、ご存じのとおりコロナ禍に振り回された3年間でした。感染拡大が心配される中での活動であり、コロナ禍以前に行ってきた活動が制限され、歯がゆい思いだけが募りました。民生委員・児童委員にとっては、顔を見ながらの言葉かけが大変重要なものですが、電話やメールといったものでは、心の微妙な思いを聞き取るのは難しいものです。

それでも身近な相談相手として「見守り」のため、家庭訪問などは続けてまいりました。

今年も物価の高騰などで、厳しい年といわれていますが、心新たに福祉行政を進めていきたいと思っております。変わらぬご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに皆さまのご健勝とともにコロナ禍の終焉を心からご祈念し、新年のあいさついたします。

町のため、訓練を重ねてまいります

新年明けましておめでとうございます。

令和5年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。コロナ禍の厳しい活動環境の中、日々活動に精励する団員の皆さま、団員を支えるご家族の皆さま、板倉町民並びに関係機関の皆さまへ心より感謝申し上げます。

近年は新型コロナウイルス感染症の流行により、板倉町でも多数の感染者が発生し、日常生活をはじめ消防団活動にも影響が出ております。そのような状況下においても全国各地で自然災害が発生し、甚大な被害を及ぼしております。

板倉消防団としても、感染症対策を徹底した上で、板倉消防署指導の下、必要な訓練を重ねていきたいと思っております。これからの消防団は、よき伝統は残し、かつ時代に合うよう変化していく必要があると私は考えます。

最後に、一日でも早く新型コロナウイルス感染症が収束し、新たな生活様式のもとで平穏な日常が戻ること、皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



川邊国雄
板倉消防団長

若い人々を導く環境づくり

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。文化協会加盟団体は現在29団体あり、各団体とも日々研鑽を重ねております。しかし、過去3年余り新型コロナウイルス感染症への対応のため、多くの活動の場が失われ、厳しいものがありました。そんな中、会員の熱い想いもあり、昨年の12月に協会主催の「展示・芸能発表会」を開催しました。やはり、発表を通じて人の交流が文化の基本であることを再確認した次第です。

さて、協会の大きな課題として高齢化による会員不足があります。当町だけではなく全国的な問題でもあります。今後若い人々への文化の継承が必要不可欠であり、そのためにも若い人々に目を向け、もたらえる環境づくりをしていきたいと思います。

具体的には各団体による発表の場の強化と町民対象の体験教室などを開催し、若い人々が文化に触れることの楽しさを体験できる機会を設けたいと思います。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。



荒井英世
板倉町文化協会長



荒山江知郎
邑楽土地改良区理事長

耕作放棄地を減らし町の発展を

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

邑楽土地改良区では、板倉町と館林市東部地区に農業用水を配水するため、水路や堰の維持管理を行っております。

近年、農業従事者の減少により耕作されていない荒れた農地が増えつつあり、耕作放棄地は、野生動物の営巣地になったり、出火の懸念など環境的にも良くありません。この対策として行政は、隣り合った農地を合わせ、ほ場を大きくし耕作しやすくする農地集積事業を進めています。当改良区でも本年より事業主体となり、より多くの地区で集積が進むよう積極的に取り組んでいくことにいたしました。

これからも組合員の負託に応えるよう全力で運営を行うこと、行政と手を取り協力し合うことが町の発展にもつながるものと思っております。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



町民の皆さまにスポーツの機会を

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、令和5年の新春を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

町民の皆さまの健康を第一に考え、姿、形を変えながらしぶとく生き残っている新型コロナウイルスの一日も早い収束を願っています。

「スポーツは人を創る」という言葉がありますが、これからもスポーツを愛好する心を大切にして、スポーツ振興を通じて、町民の健康と体力の向上を図り、スポーツ精神を高揚し明るくたくましい町民の育成に微力ながら貢献したいと思っております。

この3年間は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日常の行動が大きく制限され、当協会においても多くの大会や行事等が中止に追い込まれました。種々のガイドラインを参考に令和5年はポストコロナを見据えて、各種競技団体の活動再生を力強くサポートする年にしたいと思っております。

私たちは昨今の情勢により、屋内で過ごすことが多くなっています。しかし本来ヒトは動物です。身体を動かすことはヒトの根源的な欲求であり、ヒトは身体を動かすようにできています。人間にとってスポーツは生きる上で必要不可欠な営みです。

これからのような時代になるのかは誰にも予測できません。しかし、スポーツが世界から無くなることは決して無く、姿や形がいかに変化したとしてもヒトのそばにスポーツは存在し続けます。

体育協会は、これからの時代の変化に適応し、人々にとって最良のスポーツの機会を提供し続けていくことが、私の新年の夢です。



小野田元伸
板倉町体育協会長

本年もよろしく願い申し上げます

